

地域を つなぐ人

【伊勢】大紀町の鳥田真吾さん(56)は、現在、2棟の牛舎で約155頭の松阪牛を肥育している。鳥田さんは今年で就農16年目を迎える。JAに40歳まで勤めた後、父の後を継ぎ就農した。肥育では牛の健康管理を徹底して行っている。異変を早期発見できるように健康状態の確認を怠らず、その日の状態に合わせてビタミンの割合など飼料の配合を調整している。

大紀町
鳥田 真吾さん(56)



鳥田さんと松阪牛

松阪牛ブランド守る

また、牛は暑さに弱い。増やすなど、牛の熱のために敷料にもみ殻をため、夏場の温度管理。中症を予防している。もみ殻も欠かせない。扇風機。その他、経費削減の活用している。は給水性があまり良く

ないが、おがくすと半分ずつ混ぜることで性質を補っている。

鳥田さんは肥育の魅力について「個体差があり、思い通りにならないことが魅力。日々気を抜けないが、同時に面白さを感じている。また、出荷先で肉質を評価してもらえる」と話す。

今後について「現在、約35〜40頭の特産松阪牛を肥育しているが、50頭に増やしたいと考えている。経営面での課題もあるが、松阪牛のブランドを守り、産地を維持していくためにも頑張りたい」と話す。